

平成30年度 入学者募集要項

山形県立遊佐高等学校

〒999-8301 飽海郡遊佐町遊佐字堅田21-1
TEL(0234)72-3422 FAX(0234)72-2041



◆ 校 訓 「進んで学び、自ら考え、たくましく行動する」

◆ 沿 革（概要）

本校は、昭和2年6月15日に「遊佐実業公民学校」として開校した。以来、今年で創立91年を迎える。

戦後、県に移管され、昭和23年に「山形県立遊佐高等学校」と名称を変えた。昭和28年には全日制の課程「普通科」を、昭和30年には「農業科」、昭和32年には「家庭科」をそれぞれ設置し、地域の要請に応えるべく「全日制の課程 普通・農業・家庭科」の体制を整えた。その後「家庭科」を廃止し、「生活科」を設置した。

しかし、時代の変遷に伴い、「農業科」「生活科（その後名称変更して園芸家政科）」は相次いで募集停止となり、平成2年からは「普通科」だけの単一校となり、さらに、平成27年度入学生より「普通科」から「総合学科」に学科が改編された。

平成30年度 推薦入学者選抜について

1 募集する課程・学科、人員

全日制の課程・総合学科、入学定員（40名）の20%程度

2 志 願 資 格

次の各号に該当するものとする。

- (1) 平成30年3月に県内の中学校又は、これに準ずる学校又は義務教育学校（以下「中学校」という。）を卒業する見込みの者のうち、次の条件を満たす者。
 - ア 本校総合学科の学習に対する強い志望があり、目的意識が明確・適切であること。
 - イ 本校総合学科に対する適性、興味及び関心を有すること。
 - ウ 本校が別に定める出願要件を満たしていること。
- (2) 合格した場合は、入学が確約できる者。

3 出 願 要 件

1 キャリア形成に係る要件

本校総合学科での学習を通じて、自己理解・職業理解をはかり、社会や地域とのかかわりの中で自己の夢を実現したいとする明確な目的意識を持つ者

2 成績評定概況に係る要件

評定合計が23以上の者

3 特別活動等に係る要件

中学校の特別活動や、部活動（文化的・体育的活動）において積極的に活動し、入学後も積極的に取り組む意欲があり、次のいずれかに該当する者

- ①生徒会役員、各種委員長、学級委員（評議員）のいずれかを務めた者
- ②県大会以上の大会に出場した者

4 校外活動に係る要件

校外活動において、次のいずれかに該当する者

- ①学校外のボランティア活動団体・サークルで、1年以上継続的に活動した者
- ②文化的活動・体育的活動で、県大会レベルの各種コンクールや大会で入賞実績のある者

「キャリア形成に係る要件」と、それ以外の要件のいずれか一つに該当する者

4 出 願 手 続

- (1) 下記の提出書類を、中学校長を経由して本校校長へ提出する。

提 出 書 類	備 考
① 推薦入学願書 ② 自己推薦書 ③ 調 査 書	①、②の用紙は、本校で交付するものを使用する。①には、入学者選抜手数料として山形県収入証紙2,200円を貼る。ただし、消印はしないこと。
受 付 期 間	
平成30年1月22日(月)から1月26日(金)12時まで。郵送の場合でも、締切日時までに必着のこと。 (郵送の場合は簡易書留郵便とし、返信用切手392円分〔郵送料82円及び簡易書留料金310円分〕を貼った出願者本人の在籍中学校長あての返信用定形長3号封筒を同封する。)	

なお、中学校長は、上記書類の他に志願者名を記した公文書及び「評定概況」を1部提出する。

- (2) 自己申告書は、進路等相談を踏まえ、本校校長が認めた場合に提出することができる。
(進路等相談期間は、平成30年1月17日(水)17時まで)

5 面接及び作文

次の要領で面接及び作文を実施する。

- (1) 期 日 平成30年2月6日(火) (6) 携帯品 受検票、筆記用具、上履き
(2) 集合(受付) 9時から9時20分(開場9時) (7) 日 程
(3) 場 所 本 校
(4) 作 文 ア 時間は50分
イ 字数は400字以上600字以内
(5) 面 接 ア 形態 グループ面接とし、
1グループ3名程度とする。 検査は面接をもって、終了となります。
イ 時間 1グループ15分程度とする。

受 付 9:00~ 9:20	説 明	休 憩	作 文 9:30~ 10:20	休 憩	面 接 10:30~
-------------------------	--------	--------	--------------------------	--------	------------------

6 選 抜

選抜は、調査書、面接、作文等の結果を総合して行うものとする。

【選抜基準】

- (1) 配点比率 (A 調査書学習の記録：B 調査書学習の記録以外：C 面接：D 作文)
A 30：B 30：C 20：D 20
- (2) 面接の評価
ア 評価の観点
①目的意識(動機・理由、興味・関心、進路等) ②人 物(リーダーシップ、考え方や言動)
③態 度(面接の態度等) ④積極性(意欲・向上心)
イ 評価の段階
A・B・C・D・Eの5段階
- (3) 作文の評価
ア 評価の観点
①内容 ②構想・文章構成 ③書写・表記
イ 評価の段階
A・B・C・Dの4段階

7 選抜内定結果

選抜内定結果については、平成30年2月14日(水)必着で、中学校長あて「推薦入学者選抜結果通知書」を送付し、合格内定者には、中学校長を通じ「合格内定通知書」を送付する。ただし、合格者の発表は、平成30年3月17日(土)15時頃行う。

8 志願変更の手続

- (1) 推薦入学者選抜に漏れた者で、本校の一般入学者選抜を志願する場合は先に交付された受検票を提出し、改めて「一般入学願書」を提出した後、新たに受検票の交付を受ける。ただし、入学者選抜手数料の納付は必要ない。
- (2) 他の高校に志願変更を希望する者は、先に交付された受検票を貼った「志願変更願」を中学校長を経由して本校校長あてに提出した後、推薦入学願書の写しの交付を受けること。
- (3) 郵送による受理及び交付は行わない。

9 推薦入学者選抜前日の会場の下見について

会場内の下見はできません。

平成30年度 一般入学者選抜について

1 設置課程・学科及び入学定員

全日制の課程・総合学科 40名（推薦入学者選抜合格内定者を含む）

2 志 願 資 格

次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 平成30年3月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校を卒業見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）を修了（以下「卒業」という。）する見込みの者で、平成30年度推薦入学者選抜において合格内定していない者。
- (2) 中学校を卒業した者。
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条の各号のいずれかに該当する者。

3 出 願 手 続

(1) 提出書類

ア 一般入学願書

本校所定のものを用い、入学者選抜手数料として山形県収入証紙2,200円を貼る。ただし、消印はしないこと。

イ 調査書

ウ 県外からの志願者のうち、一家転住等及び通学の便を理由とし、志願する者は、「当該都道府県の公立高等学校に志願しない旨の証明書」1部を添え、平成30年1月末を目途に「学区外高等学校志願許可願」（所定様式）1部を本県教育委員会教育長に提出し、「学区外高等学校志願許可書」の交付を受けること。その後、交付された許可書を一般入学願書に添付し、出願すること。

エ 県外からの志願者のうち、「県外からの志願者受入制度」を理由とし、志願する者は、「県外志願者受入校への届出書」、および「当該都道府県の公立高等学校に志願しない旨の証明書」、それぞれ1部を一般入学願書に添付し、出願すること。

(2) 提出要領と受付期間

ア 提出要領

(ア) 志願者名を記した公文書を添えて、在籍又は出身中学校長を経由して提出すること。

(イ) 中学校長は、上記書類の他に「評定概況」を1部提出する。ただし、次の①～④の場合は、提出を要しない。

- ① 県外からの志願者
- ② 特別支援学校からの志願者
- ③ 平成28年度以前の卒業生からの志願者
- ④ 推薦入学者選抜にかかわって提出済みの場合

イ 受付期間

平成30年2月20日(火)から2月26日(月)12時までとする。郵送の場合でも締切日時までに必着のこと。

(郵送の場合は簡易書留郵便とし、返信用切手392円分〔郵送料82円及び簡易書留料金310円分〕を貼った出願者本人の在籍又は出身中学校長あて返信用定形長3号封筒を同封する。)

(3) その他

ア 公立高等学校への志願は1人1校とし、2校以上に同時に志願した場合はいずれの学校でも選抜から除外する。

イ 志願取消しや締切り前の変更は、必ず在籍又は出身中学校長に申し出て、公文書を添えて行うこと。

ウ 自己申告書は、進路等相談を踏まえ、本校校長が認めた場合に提出することができる。

(進路等相談期間は、平成30年2月2日(金)17時まで)

4 学 力 検 査

(1) 検査日時 平成30年3月10日(土)

8時20分まで本校（受検者控室）に集合完了すること。

（開場は7時50分）

(2) 検査場所 本校

(3) 検査教科及び時間

時 間	教 科
8 : 5 0 ~ 9 : 4 0	国 語
1 0 : 0 0 ~ 1 0 : 5 0	数 学
1 1 : 1 0 ~ 1 2 : 0 0	社 会
1 2 : 4 0 ~ 1 3 : 3 0	理 科
1 3 : 5 0 ~ 1 4 : 4 0 (13:50から約10分間はリスニングテスト)	外 国 語 (英 語)

(4) 受検者の携帯品

受検者は、受検票のほか、次の筆記用具を持参するものとし、これ以外の使用は認めない。

鉛筆（シャープペンシルを含む）、消しゴム、定規、コンパス、鉛筆削り

ア 芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。

イ 定規は、三角・直定規のいずれでもよい。ただし、分度器又は分度器のついた定規を持参してはならない。

ウ 公式や法則等の書いてある筆記用具を持参してはならない。

エ 計算機能や英単語表示機能、送信機能等の付いた腕時計を持参してはならない。

オ その他、検査の公正を欠くおそれのある物を持参してはならない。

カ 下敷きの使用は認めない。

キ 聴覚障がい者で補聴器を必要とする者は、使用してもよい。

ク 昼食、上履き

5 面 接

(1) 日 時 平成30年3月10日(土) 15時から16時30分頃まで

(2) 場 所 本 校

(3) 形 態 グループ面接とし、1グループ6名程度とする。

(4) 時 間 1グループ15分程度とする。

6 選 抜

選抜は、調査書及び学力検査の成績等を総合して行う。

(1) 選抜における調査書中の各教科の評定と学力検査の成績の比率は5：5とする。

(2) 面接の結果については、必要に応じて参考資料とする。

7 合 格 発 表

平成30年3月17日(土)15時頃、本校に受検番号を掲示する。合格者には「合格通知書」及び入学関係書類を送付する。

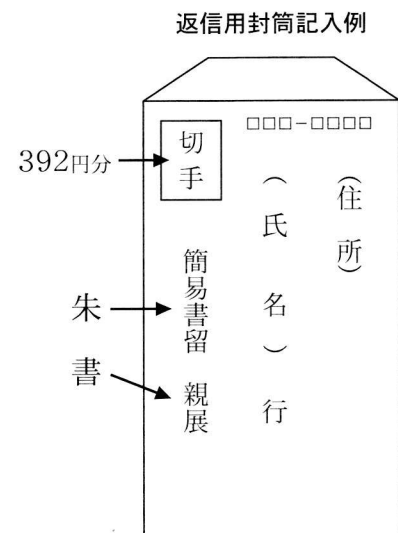
8 個人情報の提供

受検者の個人情報（学力検査の教科別得点）の提供は、合格発表後郵送により行う。

個人情報（学力検査の教科別得点）の提供希望者は、入学願書に郵送による個人情報（学力検査の教科別得点）の提供希望の有無を記入の上、返信用定形長3号封筒（簡易書留郵便とし、出願者本人の住所・氏名を記入の上親展扱いとし、返信用切手392円分〔郵送料82円及び簡易書留料金310円〕を貼ったもの）を提出すること。

9 学力検査前日の会場の下見について

会場内の下見はできません。



平成30年度 入学者教育課程表

	共通履修科目 (必修科目◎、選択必修科目○、学校設定科目●)			
	1年次	2年次	3年次	
1	◎国語総合	現代文B	国語表現	
2				
3				
4				
5	◎現代社会	◎世界史A	◎地理A	
6				
7				
8	◎数学I	○化学基礎 ○生物基礎	◎体育	
9				
10				
11	◎科学と人間生活	◎体育	コミュニケーション 英語II	
12				
13				
14	◎体育	◎家庭総合	各系列における 選択履修科目 (右記)	
15				
16				
17	◎保健	◎家庭総合	各系列における 選択履修科目 (右記)	
18				
19				
20	○音楽I ○美術I	◎コミュニケーション 英語I	各系列における 選択履修科目 (右記)	
21				
22				
23	◎家庭総合	◎家庭総合	各系列における 選択履修科目 (右記)	
24				
25				
26	◎社会と情報	◎家庭総合	各系列における 選択履修科目 (右記)	
27				
28				
29	●産業社会と人間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	
30	ホームルーム活動	ホームルーム活動	ホームルーム活動	
各教科・科目及び 総合的な学習の時間の 単位数	29	29	29	
卒業までに 修得すべき単位数	74			
特別 活動	ホームルーム活動 (週当たり時数)	1	1	1
	生徒会活動 (時間数)	10	10	10
	学校行事 (時間数)	生徒会対面式、生徒総会(前・後期)、生徒会役員選挙、 クラスマッチ		
		135	165	125
授業の 1単位時間	50分			

	各系列における選択履修科目()は単位数 (必修科目◎、選択必修科目○、学校設定科目●)		
	総合選択科目		
	系列基礎科目 (2年次履修)	系列発展科目 (3年次履修)	自由選択科目
教 養 系 列	古典A(2) 日本史A(2) 数学II(3) 数学A(2) 化学基礎(2) 生物基礎(2) 英語表現I(2)	日本史B(4) 数学II(3) 化学(4) 生物(4) ●英語実践(3)	2年次 ※音楽II(2) ※美術II(2) ※スポーツII(2) ※情報処理(2) ※●生活教養(2)
	3年次 ●国語実践(2) 政治・経済(2) ●数学探究(2)		
地 域 共 生 系 列	数学A(3) 服飾手芸(3) 簿記(3) ビジネス基礎(3) ●デュアル実践(3)	●地域デザイン(4) フードデザイン(3) 生活と福祉(3) 情報処理(3) 簿記(3) ●文書デザイン(4)	●理科探究(2) ※音楽II(2) ※美術II(2) ※スポーツII(2) ※情報処理(2) ※●生活教養(2) スポーツVI(2) スポーツ総合演習(2) ●生涯芸術・音楽(2) ●生涯芸術・美術(2) 子どもの発達と保育(2)
備 考	※印の科目は、異年次履修科目とする。選択は1回とする。 「化学」「生物」は前年度までに「化学基礎」「生物基礎」を履修した者が履修できる。 音楽・美術については、IIを付した科目はそれぞれに対応するIを付した科目を履修後に履修する。 3年次の「簿記」は2年次に「簿記」を履修した者が履修できる。 3年次に総合選択の「情報処理」と自由選択の「情報処理」は同時に履修はできない。 3年次の「生涯芸術・音楽」と「生涯芸術・美術」は、合わせての履修が望ましい。		

その他

1 主な学校行事

入学式、創立記念式典、遊佐高祭、鳥海ソーデーマーチ、修学旅行、クラスマッチ（球技大会）、卒業式 など

2 部活動の状況

《運動部》バスケットボール部（男子）、陸上競技部、剣道部、新体操部、ソフトテニス部
《文化部》ビジネスライセンス部、ソーラン部、美術部、合唱部

3 進路の状況（平成28年度卒業生）

進学 20名（55.6%） 就職 16名（44.4%）（県内14名、県外2名）

4 入学後の諸経費（平成29年度実績による参考経費）

(1) 入学時の経費

入 学 料	5,650円
制 服 関 係	（男子） 70,416円 （女子） 65,772円
体 育 用 ト レ ー ニ ン グ ウ ェ ア、シ ュ ー ズ 等	20,536円
教 科 書 類	18,477円
年 次 諸 経 費	10,000円
（計）	（男子） 125,079円 （女子） 120,435円

(2) 授業料 118,800円（年額）

※就学支援金制度の対象となる生徒は、原則、授業料の納付が不要です。
詳しくは、別添のお知らせをご覧ください。

(3) その他の経費（学校徴収金等） 115,800円（年額）

5月、6月、7月、8月、9月、10月の6回に分けて徴収。（1回19,300円）

内訳 P T A 会 費 3,000円 部 活 動 振 興 費 500円 生 徒 会 費 2,400円
修 学 旅 行 積 立 10,000円 年 次 費 3,400円